

# 家族の笑顔が集まる広々リビング 子どもがのびのび育つ 木の家

# 家族の笑顔が集まる広々リビング



自然素材と無垢材で、家族に優しい家づくりをしている信濃住宅（入間郡毛呂山町川角695の10。電049・276・7222）。子育て世代にお勧めの家づくりのポイントを伺いました。



家族が集まる開放的なリビング。リビングイン階段で2階へ続く階段も。

家族の成長に合わせて自由に変化する子供部屋！



## 木肌を感じる明るく落ち着いた小屋裏

を楽にベランダに干すことができます。家中で干せるランドリースペースを設けることで、共働きや天候が悪く外に干せない場合も洗濯物を溜め込まずに済みます。木をふんだんに使った家は二オイがこもらず、珪藻土(けいそうど)クロスは湿気を吸い取ってくれます。

## 薪ストーブ「火のある生活」

薪ストーブの「パチパチ」という音や炎は眺めているだけで癒されます。生活の中で子どもたちは、火の怖さや有難さ、自然の炎の暖かさを学ぶことができます。

## 家事の重圧をズバズバに



家事の重綱は短くシングルに。一例ですが、1階にあることが多い風呂場、洗面、洗濯スペースの洗濯スペースだけを2階に設けるだけで、水分を含み重くなつた洗濯物

1日、2人で勉強をする子どもが増えている昨今、子供部屋は小さめにして、その分、家族が集まるリビングを広くゆったりとした間取りにします。子どもたちは裸足で走り回り、寝転んで、のびのびと遊べます。自然の癒しを持つ木目や香りは、緊張感を抑え、集中力、学習効果を高めると言われています。

家事の重綱は短くシンプルに。一例ですが、1階にあることが多い風呂場、洗面、洗濯スペースの洗濯スペースだけを2階に設けるだけで、水分を含み重くなつた洗濯物



▲成長に合わせて仕切ることも考えた子供部屋

家の中で干せる「ランドリースペース」

どもが独立した後は、いつでも仕切りの壁を壊して再び広いワンルームに。また、核家族や家族構成の変化から世代を超えて平屋の家が注目されています。階段で行ける小屋裏は、採光窓があり少し低めの天井で落ち着きのあるプライベート空